

介護人材の確保について

1. 趣旨

第9期知多北部広域連合介護保険事業計画第4章「住み慣れた地域で暮らし続けるために」の基本目標3「自立に向けた介護サービスの安定提供」において、「介護人材の確保・定着と資質の向上」の項目では、「高齢者が、住み慣れた地域で介護を受けながら暮らし続けるためには、介護サービスを安定的に提供できる基盤が必要」としています。その目的を達成するには、介護職の魅力発信や、介護人材の裾野を広げる取組などの対策が、保険者と事業所に求められます。介護人材不足の課題は保険者と事業所、両者にあるため、両者の取組が必須となります。

介護人材不足の課題

主体	課題
保険者 (社会的課題)	介護人材不足により人員基準を満たさない事業所は廃止となる。そうなると、被保険者への介護サービスの提供が滞り、その結果被保険者の自立支援の阻害の原因につながる。
介護事業所 (経営的課題)	介護人材不足により、提供サービスの質の低下や事業所の廃止のリスクが増える。その結果、法人の業績悪化を招きかねない。

2. 第9期介護保険事業計画中に実施もしくは実施予定の事業

保険者と事業所が実施する、介護人材確保の取組は次のとおりです。(事業所については想定で列挙しています。)

知多北部広域連合が実施するもの【予定を含む】

	事業	概要
①	資質向上・給付適正化研修	<p><資質向上研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者等の資質向上により業務改善を目的とし、人材確保やハラスメント予防について、全2回実施し、合計93人が受講した。 <p><給付適正化（介護支援専門員等）研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド研修：制度改正、報酬改正やヤングケアラー等の家族介護者への支援について、全3回実施し、合計498人が受講した。 ・対面研修：ケアプラン作成のポイントや障がいをもつ高齢者の理解と支援について、全6回実施し、合計164人が受講した。
②	介護職員初任者研修費補助（R6～）	<p>介護人材の裾野拡充を目的とし、介護職員初任者研修に係る費用について補助するもの。</p> <p>R6 実績：5件</p> <p>R7 実績（R7.8.1現在）：0件</p>

③	主任介護支援専門員研修費補助 (R6～)	指定基準である必須資格取得のハードルを下げることによる事業所廃止リスク低減の為、主任介護支援専門員研修に係る費用について補助するもの。 R6 実績：4 件 R7 実績 (R7.8.1 現在) : 0 件
④	ケアプランデータ連携システム導入支援 (R7)	ケアプランデータ連携システム普及促進を目的とし、高齢者総合相談支援センター（地域包括支援センター）に業務委託を行う。居宅介護支援事業所とサービス事業所がケアプラン情報のデータ連携を行うことにより、業務の効率化や、ケアマネジャーが受け持つことができる利用者数の増加を図る。
⑤	介護のしごと就職フェア (R7～)	介護保険の事業所限定で就職フェアを開催する。ハローワークに協力を要請し、介護人材の新規獲得を図る。 R6 年度はプレにて 1 回実施 12 人が参加 R7 年度は 2 回開催予定（第 1 回は R7.6.21 実施 76 人が参加）
⑥	介護の魅力発信	H P により介護の仕事の魅力を発信

事業所が実施するもの

	手法		手法
①	ハローワークの活用	⑦	求人チラシへの登録
②	各種就職情報誌への掲載	⑧	外国人人材確保の活用
③	人材派遣関係業者への登録	⑨	同業種との意見交換（共助）
④	就職・転職サイトなどの登録	⑩	I C T 導入等による業務改善
⑤	新聞・CM・S N S などのメディア	⑪	業務の整理・再構築
⑥	各種就職フェアへの参加		etc . . .